

株式会社クレディセゾン(8253) 2007年度中間期決算発表
**キャッシング上限金利を引下げ、連結経常利益 329 億円の
 営業収益は前比 7.1%増加し、純利益は黒字回復**

クレディセゾンの2007年度中間期連結決算は、主力のクレジットサービス事業において、キャッシング金利引下げによる収益への影響がありましたが、特にファイナンス事業、不動産関連事業がいずれも前年を大きく上回る高収益をあげた結果、営業収益は前年同期比 7.1%増の 1,773 億円、経常利益は同 23.6%減の 329 億円、中間純利益は 122 億円（黒字回復）となりました。

クレジットサービス事業につきましては、稼働会員数の増加や、公共料金・交通関連・レジャー関連などの生活に密着した分野におけるクレジット取扱高の拡大等によりカードショッピングが伸びたほか、プロセッシング受託ビジネスにおける提携企業の増加などにより、営業収益は 1,303 億円（前年同期比 3.8%増）となりました。また、ファイナンス事業は不動産担保融資ビジネスの大幅伸長に加え、全国 140 以上の地域金融機関との提携による信用保証ビジネスが順調に推移し、営業収益は 220 億円（前年同期比 27.7%増）となりました。不動産関連事業は株アトリウムを中核としたグループ企業の業績貢献により、営業収益は 207 億円（前年同期比 37.2%増）となりました。一方、エンタテインメント事業は、規制強化の影響等により営業収益は 73 億円（前年同期比 21.9%減）となりました。

なお、収益性を重視した効率的な営業展開への転換により、カード開拓費や広告宣伝費が減少いたしました。クレジットカード債権の利息返還請求の増加に起因し、貸倒コストは 401 億円（前年同期比 53.4%増）となり、販売管理費は前年を13.8%上回りました。

2007年度通期の業績予想につきましては、営業収益を 50 億円上方修正し 3,450 億円、経常利益は期首予想と変更なく 560 億円、また子会社等の業績を勘案し、純利益は 230 億円と、30 億円下方修正しております。

■単体の業績

(1)新規カード開拓枚数	: 175 万枚（前年同期比 29%減、今年度進捗 54%）	
(2)新規カード発行枚数	: 143 万枚（前年同期比 33%減、今年度進捗 53%）	
(3)カード会員総数	: 2,563 万人（前期末からの純増数 72 万人）	
(4)稼働会員数	: 1,285 万人（前期末からの純増数 36 万人）	
(5)カードショッピング取扱高	: 1 兆 8,202 億円（前年同期比 10.4%増）	
(6)カードキャッシング残高	: 6,001 億円（前期末比 2.5%増）流動化債権含む	
(7)営業収益	: 1,408 億円（前年同期比 6.9%増）	
(8)経常利益	: 207 億円（前年同期比 29.4%減）	
(9)中間純利益	: 127 億円（前年実績-62 億円、今期黒字回復）	以上